

## 第5回 いわき市行政経営市民会議 議事要旨

I 開催日時：平成24年9月11日（火）10時～12時

II 開催場所：本庁舎8階 第8会議室

III 出席者：別紙のとおり

### IV 次第

1 開会

2 協議

いわき市復興事業計画の進捗状況の総括と今後の方向性について

・ 取組の柱3「社会基盤の整備・強化」について

・ 取組の柱5「復興の推進」について

3 その他

4 閉会

### V 主な内容

1 取組の柱3「社会基盤の整備・強化」（案）について

<質疑>

委員) No.10「防災集団移転促進事業」において、第一次計画に位置付けた11地区のうち、8月31日現在の適用地区が4地区となっている理由は何か。

事務局) 久之浜、薄磯・豊間、小浜、岩間地区は土地区画整理事業で対応することとし、田之網、永崎、折戸地区は、地区の合意形成に至らず、現地での復興を行うこととしている。

委員) 国の復興予算の一部が復興に全く関係の無い事業に使われているとの報道番組があったが、市の復興事業への影響はないか。

事務局) 復興予算の確保については、復興庁はじめ関係省庁に対して説明材料を整えるため精一杯対応してきた結果、復興庁から本市の実情について理解していただき、早期の財源確保が図られている。

委員) 震災直後はガソリンの確保に大変苦慮した。エネルギー備蓄についての位置づけが必要ではないか。

事務局) ガソリンが不足した要因は物不足、人手不足など様々であるが、防災上の観点からも、地域防災計画の改定作業の中で対策を検討していきたい。

委員) No.12「情報通信基盤の整備」について、基盤整備以前に高齢化の進行に伴う情報格差の対策が必要ではないか。

事務局) 高齢者も対象としたICT講習会を年3回開催しているが今後は、中山間地域でも講習会を実施していきたいと考えている。

委員) 高齢者でも容易に使える携帯電話を活用し、情報取得をできるようにしてはどうか。

委員) 災害時に携帯電話の通信が制限されることが問題である。国や携帯電話会社に改善の働きかけを行ってほしい。

委員) No.11「防災機能を有する都市公園の整備」について、東日本大震災の時に避難所となった公園のトイレがひどい状況であった。耐震性を考慮した防災トイレの整備を優先して行ってほしい。

事務局) 震災時、市民の皆様には大変不便をかけてしまった。災害時に多くの方が避難する公園については、防災トイレの整備を検討していきたいと考えている。

委員) 防災公園については、高台ばかりでなく、高齢者の方にも配慮して、低地へも整備すべきである。

## 2 取組の柱5「復興の推進」(案)について

### <質疑>

委員) No.1「復興に向けた内部組織体制」に関連して、双葉郡8町村の介護保険の申請手続きや書類様式がいわき市とはそれぞれ異なり手間がかかっている。様式の統一などにより無駄が省けるので検討してほしい。

事務局) 介護保険の申請様式等の統一化については、双葉郡8町村との事務レベルでの会議で整理していきたい。

委員) 小名浜港の復旧は、仙台港等と比較すると進捗が遅いのでスピードアップを図ってほしい。

委員) No.6「国・県等関係機関の誘致」で要望してきた「原子力損害賠償紛争解決センター」については、いわき支所が設置されたものの、口頭審理の都度、東京へ出向く必要がある。いわき支所で解決できるよう要望してほしい。

事務局) 実態を踏まえ、対応することとしたい。

委員) No.14「原子力災害に係る適正な賠償の請求」について、税収の減額分についても請求すべきではないか。

事務局) 税収の減額分については、国の指針において損害賠償の対象外とされているが、県では原発事故との因果関係が立証できれば、請求できるとの見解により既に請求をしており、市も同様に請求していきたいと考えている。なお、条例による減免や税法上の雑損控除に伴う減額分については、国から交付税措置を受けられることとなっている。

委員) No.11「いわきの復興、未来を担う人材の育成」では、なぜ小学生だけを対象としているのか。

事務局) 中学生や高校生については、学校教育の一環として職場体験等を実施しており、低年齢層にいわきの良さや地域の資源を知ってもらうきっかけづくりとして取り組んでいるものである。

委員) 小学校学区内のコミュニティである「子ども会」の数が減っていると聞いているが、子ども会の現状や子ども会の運営に対する支援の内容について伺いたい。

事務局) 総合教育センター所管のため、後日、報告したい。

委員) : No.9「いわき市災害救援ボランティアセンターの設置」に関連して、市の防災訓練は、初動の際の訓練としてはいいと思うが、1カ月程度の期間を想定した訓練を民間団体の動きなどを踏まえて総合的に検討する必要があると考えているが如何か。

事務局) 現在、地域防災計画の見直し作業のなかで課題の洗い出しを行っている。今後、その課題を整理しながら段階で検討を行っていきたいと考えている。

委員) 市内のボランティアが減っている。また、市内のNPOのうち約半分が活動を休止している。今後は、肉体系ではなく頭脳系ボランティアが必要となるが、掘り起こしについてはどのように考えているか。

事務局) ニーズに対応できるよう、関係機関が参画する連絡会議において、検討していきたい。

委員) No.8「他自治体等からの応援職員の配置」について、県では職員定数を300人程度引上げ、その一部を市町村に派遣すると聞いている。いわき市は2万人近くの避難者を受け入れており、医療・福祉の業務量が増えていると思うが、県に対して職員の派遣を要望する考えはあるのか。

事務局) 県から任期付き職員の派遣について照会がきているので、市として必要な人数を取りまとめ、要望するつもりである。

委員) No.13「財源の確保」の「職員数の適正化」についてはどのように考えているのか(今後も減らしていくのか)。

事務局) 見込みを上回る普通退職者等により、トータルでは職員数が減となっている。これまで削減を基本として職員数の適正化に努めてきたが、早期の復旧・復興への影響が生じないように、将来的な見通しを勘案しながら対応していきたい。

委員) 復旧・復興が遅れないよう職員の重点配置を行ってほしい。

委員) No.6「国・県等関係機関の誘致」に記載されている「前例のない複合災害からの再生モデルを世界に示す」というフレーズの趣旨を確認したい。

事務局) このフレーズは市復興ビジョンに掲げた復旧・復興の目的から引用しているものである。この取組は、国においても、本市を再生モデルとして世界に示していく必要性があるとの観点から、当該取組みのキーワードとしたものである。

委員) 国等の関係機関の誘致はどのような状況か。

事務局) 関係機関の誘致については、本省機能の設置が望ましいが、震災の影響等により実現が難しく、ブランチ的な位置付けの設置となる可能性もある。動向を見極めながら引き続き要望を行っていききたい。

委員) 市では、市民が「世界に誇れる再生モデル」として復興を実感できるよう、取組んでいただきたい。

委員) No.9「いわき市災害救援ボランティアセンターの設置」について、まちづくり団体や大学等の学生に対して、ボランティアへの参画を促す取組が必要。また、計画全体に対する意見として、復興事業を市民がよく分かるような取組みを行ってほしい。

事務局) 大学等のボランティアサークルと協議を進めていきたい。

事務局) 今年度から広報の重点化を図り、テレビ番組の枠を新たに確保し、市長メッセージや市民の皆様の活動など復興に向けた様々な取組みについて情報発信を行っている。また、団体等からの要望に応じて市民講座を開催したり、現地に赴いて説明を行っている。計画への位置付けについては別途検討させていただきたい。

委員) 郡山市の「楽都君」のような市のシンボルとなるキャラクターを検討してはどうか。

委員) No.11「いわきの復興、未来を担う人材の育成」に関連して、市内の大学や専門学校では定員割れが起こっており、経営状況が悪化すれば廃校となる可能性もあるので、支援を検討してほしい。

#### <全体意見>

委員) 自治会の運営や活動を活発化させるための方策を検討してほしい。

### 3 その他

○ 次回の第6回市民会議について

- ・ 協議内容 既に着手している新たな取組みについて
- ・ 開催日程 平成24年9月24日（月）午前10時から

【署名】 渡邊 俊 克

渡邊 大 輔

第5回いわき市行政経営市民会議 委員名簿

区分	団 体 名	職 名	氏 名	備考
学 識 経 験 者	い わ き 明 星 大 学	人 文 学 部 長 教 授	石 丸 純 一	欠 席
	東 日 本 国 際 大 学	福 祉 環 境 学 部 長 教 授	井 上 秀 之	
	福 島 工 業 高 等 専 門 学 校	建 設 環 境 工 学 科 准 教 授	齊 藤 充 弘	欠 席
産 業 界 関 係 者	い わ き 商 工 会 議 所	副 会 頭	大 兼 勝 彦	
	い わ き 地 区 商 工 会 連 絡 協 議 会	会 長	猪 狩 正 明	
	い わ き 経 済 同 友 会	副 代 表 幹 事	長 谷 川 祐 一	
	い わ き 市 農 業 協 同 組 合	経 営 管 理 委 員	石 井 多 津 子	
	福 島 県 漁 業 協 同 組 合 連 合 会	参 事 兼 指 導 部 長	中 田 研 二	
	い わ き 市 森 林 組 合	参 事	松 崎 正 信	
	社 団 法 人 い わ き 観 光 ま ち づ くり ビ ュ ー ロ ー	専 務 理 事 兼 事 務 局 長	平 山 武 博	欠 席
	社 団 法 人 い わ き 市 医 師 会	副 会 長	松 崎 博 光	欠 席
	社 会 福 祉 法 人 い わ き 市 社 会 福 祉 協 議 会	会 長	強 口 暢 子	欠 席
市 民 団 体 等 ・ 地 域 関 係 づ く り 者	い わ き 市 PTA 連 絡 協 議 会	会 長	石 明 生	欠 席
	い わ き 市 行 政 嘱 託 員 ( 区 長 ) 連 合 協 議 会	会 長	渡 邊 俊 克	
	社 団 法 人 い わ き 青 年 会 議 所	副 理 事 長	渡 邊 大 輔	
	い わ き 地 域 環 境 科 学 会	事 務 局 長	山 田 貴 浩	
	特 定 非 営 利 活 動 法 人 い わ き NPO セ ン タ ー	理 事 長	照 井 義 勝	
	い わ き 女 性 交 流 ネットワーク	幹 事	矢 内 圭 子	
公 募 委 員		—	飯 田 教 郎	
		—	九 頭 見 淑 子	欠 席

出席者数 13 名